2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　トヨクモ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4058　　ＵＲＬ　https://www.toyokumo.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長兼 マーケティング本部長　　（氏名）山本　裕次
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営管理本部長　　（氏名）石井　和彦　　ＴＥＬ　050(3816)6668

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,488	27.8	2,066	39.6	1,870	43.7	1,880	44.2	1,243	46.1
2025年12月期第３四半期	3,512	56.1	1,479	74.3	1,301	54.6	1,304	54.9	850	46.2

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　1,252百万円（46.4%）　2025年12月期第３四半期　855百万円（47.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	114.34	ー
2025年12月期第３四半期	77.95	ー

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	7,455	4,879	65.1
2025年12月期	6,538	4,061	61.8

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　4,850百万円　2025年12月期　4,042百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	20.00	20.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期（予想）				27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	23.5	2,370	28.1	2,100	30.8	2,100	30.5	1,400	29.0	128.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	11,008,000株	2025年12月期	11,008,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	170,977株	2025年12月期	56,300株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	10,872,614株	2025年12月期３Ｑ	10,916,927株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
四半期連結損益計算書 …… 4
四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「すべての人を非効率な仕事から解放する」ことをミッションとして掲げております。このミッションを実現するため、「情報サービスをとおして、世界の豊かな社会生活の実現に貢献する」ことを企業理念とし、「ITの大衆化」を目指しております。これらに基づき、当社グループでは、法人向けクラウドサービスの開発・販売を行っております。

主なサービスとして、緊急時に簡単に情報共有できるように設計したシンプルなクラウドサービス「安否確認サービス」、サイボウズ株式会社の提供する業務アプリケーション構築サービス「kintone」と連携することで、より便利に利用するためのクラウドサービス「kintone連携サービス」、業務マニュアルやノウハウを一元管理できるナレッジマネジメントツールのクラウドサービス「NotePM」の開発・販売を行っております。そのほか、社内のスケジュール管理と社外との日程調整が可能な新しいコンセプトのスケジューラー「トヨクモ スケジューラー」、従来BPOサービスを利用していた案件に対して、SaaSを活用し、低コストでのシステム構築と業務の効率化を実現できるような業務パックなどを展開しております。

当社グループが主なサービスを展開している国内のクラウド市場は、2011年の東日本大震災を背景に、企業におけるリスク管理やBCP（事業継続計画）に関する意識の高まりによって広がり始めました。また、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、リモート勤務をはじめとする多様な働き方の普及に伴い、時間や場所にとらわれず利用可能なクラウドサービスの需要が高まっております。今後は、従前において多くみられた基幹系システムをクラウドサービスへ移行するだけでなく、デジタルトランスフォーメーションやデータ駆動型ビジネス、生成AIの普及によるITインフラへの投資の拡大が見込まれております。国内民間企業によるIT投資の市場規模は、2024年度の15兆8,200億円から、2027年度は17兆9,300億円になると予測（注１）されており、国内民間企業においてITへの投資の必要性と意欲は継続されると考えております。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は4,488百万円（前年同期比27.8％増）、EBITDA（注２）は2,066百万円（前年同期比39.6％増）、営業利益は1,870百万円（前年同期比43.7％増）、経常利益は1,880百万円（前年同期比44.2％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,243百万円（前年同期比46.1％増）となりました。

なお、当社グループは法人向けクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

（注１）　株式会社矢野経済研究所「国内企業のIT投資に関する調査（2025年）」（2025年12月１日発表）
（注２）　EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ916百万円増加し、7,455百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加953百万円、売掛金の増加122百万円、のれんの減少110百万円、顧客関連資産の減少38百万円によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、2,576百万円となりました。これは主に、未払金及び未払費用の減少170百万円、契約負債の増加263百万円によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ817百万円増加し、4,879百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加1,024百万円、自己株式の増加による減少215百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年８月13日に公表した内容から変更ありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,407	5,360
売掛金	180	303
その他	215	200
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,802	5,862
固定資産		
有形固定資産	51	49
無形固定資産		
のれん	881	771
顧客関連資産	308	270
その他	185	165
無形固定資産合計	1,375	1,207
投資その他の資産	308	336
固定資産合計	1,736	1,592
資産合計	6,538	7,455
負債の部		
流動負債		
買掛金	41	42
未払金及び未払費用	483	312
賞与引当金	－	2
未払法人税等	384	411
契約負債	1,264	1,527
その他	200	190
流動負債合計	2,373	2,487
固定負債		
その他	103	88
固定負債合計	103	88
負債合計	2,477	2,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	394	394
資本剰余金	417	417
利益剰余金	3,330	4,354
自己株式	△101	△316
株主資本合計	4,042	4,850
非支配株主持分	19	28
純資産合計	4,061	4,879
負債純資産合計	6,538	7,455

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,512	4,488
売上原価	142	214
売上総利益	3,370	4,274
販売費及び一般管理費	2,069	2,404
営業利益	1,301	1,870
営業外収益		
受取利息	4	10
その他	0	0
営業外収益合計	4	10
営業外費用		
支払利息	1	－
株式交付費	0	0
自己株式取得費用	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	1,304	1,880
税金等調整前四半期純利益	1,304	1,880
法人税、住民税及び事業税	452	658
法人税等調整額	△3	△29
法人税等合計	448	628
四半期純利益	855	1,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	850	1,243

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	855	1,252
四半期包括利益	855	1,252
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	850	1,243
非支配株主に係る四半期包括利益	4	9

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社グループは、法人向けクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、法人向けクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年２月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式150,000株の取得を行いました。また、2026年４月15日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、自己株式35,323株の処分を行いました。この結果、当第３四半期連結累計期間において自己株式が215百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が316百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	68百万円	85百万円
のれんの償却額	110	110